

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス浜松教室

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	1,利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	法定の基準は十分満たしている。ただし高学年のお子さんが多い日は狭く感じることもあることから、机の配置や他の活動スペース（面談室・その他）も活用するなどして工夫している。	今まで同様、当日の療育の内容や来所する児童の人数・学年などにより、机や椅子を移動させスペースと安全を確保する。休憩や余暇時間のために用意している“小スペースで楽しめる遊び”（知育玩具など）を増やす等の工夫する。
	2	2,利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	66.7%	33.3%	0.0%	法定基準の人員配置数もしくはプラス1名で適切に運営している。当日の療育内容や来所するお子さんの特性によっては、パート職員を更に追加するなど、配置基準は遵守している。	僅かな時間ではあるが保護者の送り迎えの際など、やむを得ず職員一人で教室で遊ぶ児童の対応をすることがある。日頃より問題行動があるお子さんが来所している際は注意を払っているが、より一層の注意・配慮をする。
	3	3,生活空間はこどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	100.0%	0.0%	0.0%	事業所全体がバリアフリー化されている。トイレも車椅子対応のスペースを確保している。トレーニングに集中できるよう、内装カラーを統一し、不要な掲示や家具・物品などは置かないよう注意にしている。	現在は身体に障害をお持ちのお子さんの利用が無いことから、トイレ以外ではあえて手すりを設置していない（設置により多動の児童はむしろ危険に繋がる可能性もあるため）。必要に応じて迅速に設置対応は可能となっている。
	4	4,生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎日の清掃・除菌、温度と湿度の調整をし、心地よい空間作りと感染症対策に努めている。職員のマスク着用、体調不良の際のコロナ検査、インフルエンザ予防接種なども継続している。	清潔で安全な環境を維持するため、引き続き、毎日の清掃・除菌、温度・湿度調整など、空間作りと感染症対策を継続していく。
	5	5,必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%	0.0%	児童のために落ち着く環境（別室）を用意している。気持ちの切り替えや落ち着かせる際など、必要の際は職員の判断や児童本人の申し出で使用している。	変化をつけ、別室を利用児童のために上手く活用している。別室を利用する際は、入口を開放する、または他の職員も在室するなどし、虐待防止の観点からも十分に注意している。
	6	6,業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	7	7,保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
業務改善	8	8,職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	二カ所の事業所でオンラインミーティングを行うなど、一人一人の意見を言いやすい環境を設定している。全体で言いにくい意見は個別に聞くようにしている。	
	9	9,第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0.0%	33.3%	66.7%	第三者評価は実施していないが、ハッピーテラス本部の職員による訪問研修を毎年行っている。	
	10	10,職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	ハッピーテラス本部の研修や放課後連の研修等に定期的に参加している。	業務に支障があると時間帯によって参加できないことがある。
	11	11,適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	今年度から実施をする。	
	12	12,個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者の送り迎えがない児童も多いので、年に一回以上は面談をして悩み事や課題、生活全般を聞き取るようにしている。	多数の契約者がいるので、全員の面談の日時を設定するのが負担。

適切な支援の提供	13	13,放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	14	14,放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	作成した計画は非常勤の職員も含め、確認してもらうようにしている。	
	15	15,こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	16	16,放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	17	17,活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%		日々プログラムを提供する必要があるため、長期休暇には十分に時間が取れないことがある。
	18	18,活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	週に複数回来る利用児童が同じ内容にならないように職員同士で話し合っている。	
	19	19,こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	20	20,支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎朝今日の利用者の確認をして気を付ける点などを共有している。何が起こりそうか事前に自分達で考え、予想して準備をする。改めて言語化することで意識できるようにしている。	
	21	21,支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	66.7%	33.3%	0.0%		なるべく行うようにしているが、記録の入力が忙しくて毎回行うのは難しい。
	22	22,日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%		経験の少ない職員へ日誌の書き方を伝えていくことが課題。
	23	23,定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	24	24,放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%		4つの基本活動の中で、地域との交流の機会が少ないことが課題。
	25	25,こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
関係機関や保護者	26	26,障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	児童発達支援管理責任者が参加しているが、日程調整が難しいので、当事業を会場にしている。	
	27	27,地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	66.7%	0.0%	33.3%		
	28	28,学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者の同意を得て、なるべく先生が対応可能な時間に学校を訪問して振り返りの書類を渡すようにしている。	
	29	29,就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0.0%	66.7%	33.3%	契約前に保護者から書面（架け橋シート）で情報を頂いている。	時間がなくて直接的な情報共有や連携が難しい。

との連携関係機関や保護者との連携	30	30,学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	33.3%	33.3%	33.3%		相談支援事業所の担当者に打診はしているが、返答がないので実現していない。
	31	31,地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33.3%	66.7%	0.0%		ハッピーテラス本部の研修や助言を受けているが、地域の研修にはあまり参加していない。
	32	32,放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0.0%	66.7%	33.3%		
	33	33,(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	33.3%	33.3%	33.3%		Zoomを利用するなどして参加ができるようにしたい。
	34	34,日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	35	35,家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	66.7%	0.0%	33.3%		
保護者への説明責任等	36	36,運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	66.7%	0.0%	33.3%	契約時や質問があった際に説明をしている。	
	37	37,放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	38	38,「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	39	39,家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	40	40,父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0.0%	66.7%	33.3%		
	41	41,子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	42	42,定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	43	43,個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	44	44,障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	45	45,事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0.0%	66.7%	33.3%		
非常	46	46,事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	66.7%	0.0%	33.3%		
	47	47,業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	利用回数が少ない児童も参加できるように同じ週に複数回実施している。	
	48	48,事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	49	49,食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	66.7%	33.3%	0.0%	アレルギーの情報を一覧表にして掲示したり、食べ物を提供する際には保護者にアレルギー物質を周知している。	医師の指示書まではないが、保護者からの申告を共有している。

時等の対応	50	50,安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	51	51,こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	52	52,ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	53	53,虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	研修があれば積極的に参加したり、チェックリストも活用している。	
	54	54,どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	委員会で協議した内容を個別支援計画に記載している。	

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。